



第51回全国消防救助技術大会 in 札幌に出場決定

～愛知県代表として消防救助技術の頂点へ！～

愛知県、三重県、岐阜県の消防本部が一堂に会し、7月27日（木）に三重県消防学校（鈴鹿市）で開催された第51回消防救助技術東海地区指導会で、本市から出場した救助隊員が「ほふく救出訓練」で優秀賞（愛知県第1位）を獲得し、北海道で開催される全国大会に愛知県代表として出場することが決まりました。本市からの全国大会出場は水上の部を含めると4年ぶり、陸上の部では15年ぶりの出場となります。

■日時

令和5年（2023年）8月25日（金） 午前9時～午後4時30分

■場所

札幌市消防学校（北海道札幌市）

■参加者

番 手	階 級	氏 名	年 齢
隊員1番員	消 防 士	<small>ひょうどう りょうげん</small> 兵藤 亮元	25歳
隊員2番員	消防副士長	<small>やつぎ けいじ</small> 八弮 圭司	29歳
要救助者	消 防 士	<small>もりもと かい</small> 森本 開	24歳
指 導 者	消 防 士 長	<small>の の や ま ひでまさ</small> 野々山 豪優	39歳

■内 容

ほふく救出訓練とは、ビルや地下街で煙に巻かれた要救助者を救出することを想定した2人1組の救助チームで行う訓練です。

1



2



3



隊員1名が空気呼吸器を着装し、両脚にロープを巻いた状態で、長さ8メートルの煙道内に侵入し、要救助者を救出に向かいます。

4



5



要救助者を救出した後、隊員2名で要救助者を抱え、安全な場所まで搬送します。

この競技は、スタートから40秒足らずでゴールするスピード勝負で、少しのミスも命取りとなる極限状態の中、2位とは0.1秒の差で優秀賞を掴み取りました。

8月25日（金）に開催される全国消防救助技術大会は、救助技術の高度化に必要な基礎的要素を錬磨することを通じて、市民の皆様の生命及び財産を守るために不可欠な体力、精神力、技術力を養うとともに、日本全国から選抜された救助隊員が一堂に会し、日々の訓練で磨き上げた消防救助技術を競い合う大会です。全国大会まで残り1ヶ月を切っておりますが、さらなる訓練を重ね、全国の舞台でも良い結果を残せるよう精進します。



■お知らせ

8月22日（火）午前10時30分より、東海市消防署（高横須賀町）にて救助隊員の出発式を執り行います。ほふく救出訓練も披露する予定ですので、全国大会直前の救助隊員の雄姿を是非ご覧ください。

問合せ	消防本部 消防署警防課 担当：西川（にしかわ） 0562-36-0471
-----	--